



No.36



〒666-0121
 兵庫県川西市平野1-39-1
 医療法人協和会 協立温泉病院
 広報委員会
 TEL. 072-792-1301
 FAX. 072-792-2341
 URL : <http://www.kyowakai.com/>

協立温泉病院広報紙 2015年 1月 31日発行

今年のあなたは『若者、よそ者、それとも……者』？

院長 藤岡 秀樹

平成25年の当院創立30周年から、早いもので今年もう2年目になります。

世にある様々な団体や組織では、独創的で活発な組織運営が続くのはせいぜい10年といわれ、一方、その組織の継続発展には、時機を得た的確な創造的組織改革が必須とされています。

医療の分野も同様です。いま医療に求められている重要政策の一つが、昨年厚労省により示された地域包括ケアシステムであることは皆さんご存知のとおりです。高齢化に伴い増大する医療介護の需要に対し、地域ぐるみの対応が求められているのです。慢性期医療を担う当院も、当然のことながら積極的対策とその組織づくりを始めねばなりません。今こそ、さきほどの創造的組織（+意識）改革が必要なのです。



最近、巷（ちまた）で『組織を変えるのは、若者、よそ者、ばか者』という記述をよく見かけます。その意味するところは、「若者」は組織の慣習にとらわれず新しいことにチャレンジし、新しい価値観を創造する者（年齢は関係なく精神的な若さ柔軟性を持つ者）。「よそ者」は広い視点で物事を客観的に評価し、その組織にふさわしい方向性を見出す者（必ずしもよそから来た者にあらず）。「ばか者」は一途（いちず）に信念を持って目標にまい進し、強い行動力で漫然とした枠組みを打ち破る者、ということになりましようか。

長年続く組織が陥りやすい弊害は、繰り返される非効率な習慣や融通の利かない考え方であろうと思います。組織にとって致命的なのは、これらが良くないという意識もないままに連綿と継続されることなのです。ぬるま湯の中で気持ちよく茹（ゆ）であがっていく自分の姿を思い浮かべれば、雰囲気としてイメージできるでしょうか。当然30年を経た当院も例外ではありませんが、どうやら、このあたりに先の「若者、よそ者、ばか者」の出番がありそうです。

今年こそ真の意味の「若者、よそ者、ばか者」の出現が期待されますが、幸いなことは、われわれ全員（とまではいかない？）がその「三者」になれる可能性をいささかなりとも持ち合わせている（だろう）ということです。

というわけで皆さん、今年のあなたは『若者、よそ者、それとも……者』？

私は及ばずながら、もう少しよそ者でいければなと秘かに思っているところです。

協立温泉病院の退院調整看護師として

退院調整看護師・外来 西村 恵都子



はじめまして、こんにちは。地域医療福祉相談室の退院調整看護師、西村です。

「退院調整看護師って何をする看護師？」と思われる方も多いと思います。

私の仕事は、当院に入院された患者様が退院される際に、御本人様と御家族様が不安なく、入院前と同じような生活を送る為には、どのようにすれば一番良いのか、色々な案を考え、支援調整する仕事をしております。

病室に訪問し、入院前の様子や、退院後の予定など、いろいろなお話を聞かせていただいています。また、病棟看護師や、担当の相談員、リハビリテーション担当者と退院支援チームを組み、治療・リハビリテーションが一段落され自宅で療養される際に、心配事や困ることが無いように、自宅訪問をさせていただくこともあります。

自宅での療養が困難な場合は、自宅に代わる生活の場を提供させて頂き、御本人様、御家族様がよりよく生活を送れるように支援させていただきます。よろしく願い致します。

CS委員会 患者体験の紹介

作業療法科 今井 由美子

協立温泉病院、CS委員会で行っている患者体験について紹介します。その前にCS委員会について説明します。CSとはCustomer Satisfactionの略で、患者様の満足度を向上するための活動に取り組んでいます。その中で、患者体験は、患者様が日ごろ受けておられる介助などを職員同士の小グループで疑似体験して、患者様の立場に立つことで、患者様の気持ちを知り、介助時の声掛けや配慮点を学ぼうという取り組みです。これまでに、車椅子、オムツ、食事介助体験など実施しています。2014年10月に行ったオムツ体験では、体験者から『声掛けなく介助されるとどちらに動かされるかもわからずに怖かった』『目が回りそうだった』『私語されながら介助されると物扱いされているようで不快だった』『オムツを使いたくて使っているわけではないのにと悲しくなった』『臭い、重たい、やっと終わったなど言われると辱められている気持ちになり嫌だった』などの感想がでました。その結果、オムツ介助時、以下の点に配慮することを再確認しました。

①患者様の目を見て一つ一つの動作に声掛けをする②優しく、ゆっくりと丁寧な扱いを心掛ける③介助者同士で私語をしない④患者様を辱めるようなことは言わない⑤愛情をもって行う⑥衣服のしわなどしっかり伸ばす。

これからも、患者体験、ご意見箱への投書や満足度調査（2015年2月に実施予定）などを通じて、患者様の不安、不快な気持ち、不満をできる限り把握し、安心、安全、信頼していただける病院を目指して、努力したいと考えています。厳しいご指摘をお願いします。

もちろん、良いと感じていただけることがありましたら、そのお言葉で日頃の疲れが一度に吹き飛びますので、お知らせいただければ幸いです。



そうやねえ。
体験すると気持ちが
わかるね。

恥ずかしいわあ！
怖いわあ！
丁寧にしてね！

痛いところないですか？
右側を向きますよ。

声掛けしてもらえると安心
できるねえ！



ご意見箱より

《ご意見》

1階女子トイレのドアにカギがかからず不便です。2つカギがついていますが、つぎはぎで見た目が汚いし、分かりにくいです。ドアを交換してほしい。

＜回答＞

貴重なご意見ありがとうございました。
整備の不行き届き、配慮が不足し申し訳ございませんでした。
ご指摘のトイレのドアにつきましては、更新の方向ですめています。今しばらくのご辛抱をお願い申し上げます。

事務部

(現在、ドア・鍵の更新は終了しております。)

《ご意見》

狭くて古い病院だからと考える人がいた中で、私達はこの病院に決めて良かったと思っています。スタッフの方達の連携の良さといい、あいさつといい、とても感じが良く心をひとつにしているすばらしい病院だと思いました。
ありがとうございます。

＜回答＞

温かいお言葉ありがとうございます。
職員一同、これからも患者様・ご家族様に安心して穏やかな療養生活を送って頂けるよう努力してまいります。
看護部